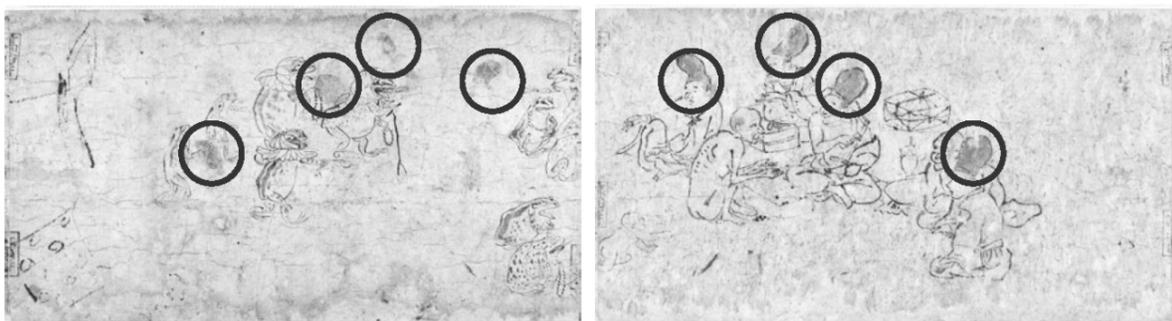


# 修理で分かった新事実

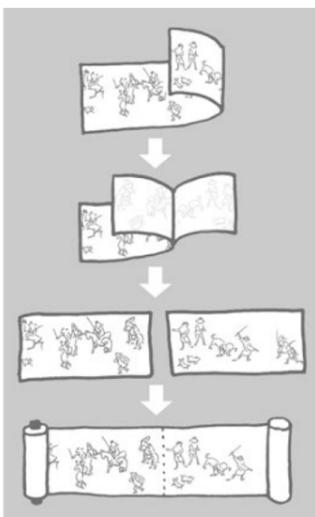
遠い昔に作られた文化財は、大切に保管し、時々修理をすることで、現在まで伝えられてきました。鳥獣戯画も近年修理され、その時に様々な発見がありました。

四巻のうち丙巻は、前半と後半で内容が全然違うため、これまで「別々の絵巻をつなげたのだろう」と考えられてきました。ところが、画面にある不思議な墨のあとをよく観察すると、ある事実が分かったのです。

なんと丙巻の前半と後半は、もともとは一枚の紙の表と裏に描かれていたものでした。墨のあとは、片面に描いた墨が、反対側の絵にしみ込んだものだったのです。どこかの時代で、一枚の紙が表裏二枚にはがされ、一巻の絵巻に作り直されていたのです。



《墨のついた位置が一致している》



# 高山寺 — 鳥獣戯画が伝わったお寺 —



高山寺・石水院

高山寺は、京都市の西北、梅尾という場所にある古いお寺です。秋には紅葉を楽しむ人々ににぎわいます。お寺のはじまりは奈良時代と言われています。鎌倉時代に、明恵上人というお坊さんが後鳥羽上皇からお寺の土地と建物を与えられ、しだいにお寺は大きくなりました。高山寺には、鳥獣戯画の他にも、さまざまな宝物が伝わっています。展覧会の会場で、ぜひ出会ってくださいな。



国宝 明恵上人像 樹上坐禅像(部分) 一幅

■前期展示



# 知っているようで知らない、鳥獣戯画！

誰もが知っている絵巻物の「鳥獣戯画」は、正式な名前を「鳥獣人物戯画」と言います。

実は甲・乙・丙・丁の四巻からなる作品で、有名な兔や蛙たちが遊ぶ場面は、甲巻に描かれています。乙巻には、馬・牛などの身近な動物や、麒麟・龍などの伝説上の生き物が登場します。丙巻には、前半に人間が遊ぶ様子、後半に動物たちが人間のようふるまう様子が描かれます。丁巻には、いろいろな身分の人たちの、様々な技比べが描かれます。

甲巻と乙巻は平安時代に、丙巻と丁巻は鎌倉時代に作られました。文字がなく、絵だけで表現されているので、この絵巻が何を表しているのか、また、誰が何のために作らせたのかも、はっきりとは分かっていません。

親しみやすく見えるけれど、実はとても謎の多い絵巻なのです。

展覧会をもっと楽しむための鑑賞ガイド

○特別展覧会 修理完成記念

# 国宝 鳥獣戯画と 高山寺

Masterpieces of Kōsan-ji Temple

Commemorating the Restoration of the National Treasure Scrolls of Frolicking Animals and Humans



会期 平成26年10月7日〔火〕—11月24日〔月・祝〕

■前期 10月7日—11月3日

□後期 11月5日—11月24日

会場 京都国立博物館 明治古都館(本館)

- 博物館でのメモは鉛筆でどうぞ
- 作品にさわらないで
- 小さな声で話そう
- ゆっくり歩こう



乙巻(部分) ■前期展示



甲巻(部分) □後期展示



丁巻(部分) ■前期展示



丙巻(部分) □後期展示



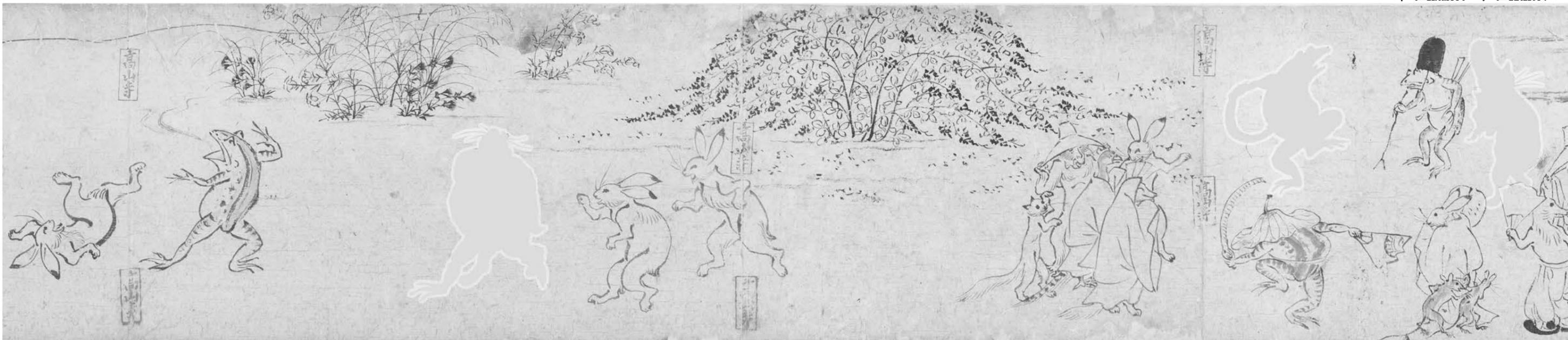
③

②

うさぎぐみ かえるぐみ あらそ のりゆみ ざしき のりゆみ  
 ねんちゅうぎょうじ しょうしき しょうひん  
 ≪ 兎組と蛙組が争う賭弓の儀式 (賭弓: 平安時代の年中行事。勝者には賞品があたえられる。) ≫

①

国宝 鳥獣人物戯画 甲巻 (部分)  
 ↑ (■前期展示) ↓ (□後期展示)



⑥

うさぎ かえる すもう  
 ≪ 兎と蛙の相撲 ≫

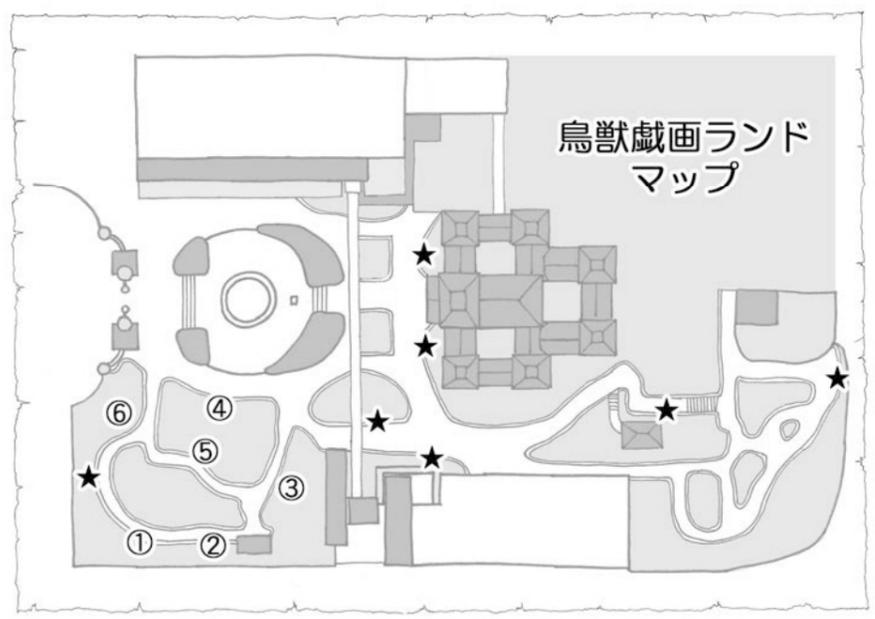
⑤

かえる でんぱく  
 ≪ 蛙の田楽踊り ≫

④

お庭で①～⑥の動物たちを見つけたら、この鑑賞ガイドにスタンプを押して、絵の中にもどしてあげてね。

マップの★マークのところにも、ぼくらの仲間がいるよ。



博物館のお庭に、彼らを探しに行こう！

甲巻の動物たちが、絵から飛び出していつちゃった!?

